

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単字型／海外／その他資産(通貨)／特殊型(条件付運用型)
信託期間	2007年9月7日から2014年8月25日(繰上償還条項付き)
運用方針	SGA ソシエテ ジェネラル アクセプトランス N.V.(仏系銀行ソシエテ ジェネラルの100%子会社)が発行するユーロ円債への投資を通じて、実質的に、分配金収益を追求しつつ、期中評価日の米ドル／円為替レートが一定水準まで円高にならない場合の元本の確保を目指します。また、一定水準まで円安になった場合は繰上償還します。
主要運用対象	SGA ソシエテ ジェネラル アクセプトランス N.V.が発行するユーロ円債を主要投資対象とし、可能な限り高位に組入れます。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への直接投資は行いません。・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。・同一銘柄の転換社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	原則として年2回決算時(毎年2月25日および8月25日、休業日の場合は翌営業日)に次の通り分配を行う方針です。 (1) 分配可能額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。 (2) 分配金額は、委託者が、信託契約締結日に定める目標分配額を参考として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 (3) 収益の分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

U N I T E D
I N V E S T M E N T S

ユニテッド為替参照ファンド2007-09 (愛称：かわせ飛行)

第8期 運用報告書

決算日 2011年8月25日

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てに預り、厚く御礼申し上げます。さて、今般「ユニテッド為替参照ファンド2007-09(愛称：かわせ飛行)」は、去る8月25日に第8期の決算を行いました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも、お引き立てのほど宜しく願い申し上げます。

ユニテッド投信投資顧問 株式会社

東京都中央区新川1-17-25

(お問い合わせ先)

お客様デスク Tel: 03-5542-7150

<http://www.unitedinv.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	参考指数		債券 組入 率	元本 残存率
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落額	期 中 騰落率		期 中 騰落率	期 中 騰落率		
(設 定 日) 2007年 9 月 7 日	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	115.39	% —	% —	% 100.0
1 期 (2008年 2 月 25 日)	9,051	400	△ 549	△ 5.5	△11.7	107.39	△ 6.9	99.4	100.0
2 期 (2008年 8 月 25 日)	8,714	400	63	0.7	△ 5.0	110.28	2.7	99.3	100.0
3 期 (2009年 2 月 25 日)	7,325	25	△1,364	△15.7	△12.6	96.66	△12.4	99.3	96.1
4 期 (2009年 8 月 25 日)	7,390	25	90	1.2	△ 8.9	94.17	△ 2.6	99.3	94.7
5 期 (2010年 2 月 25 日)	7,167	5	△ 218	△ 2.9	△ 8.0	90.14	△ 4.3	99.4	94.3
6 期 (2010年 8 月 25 日)	7,101	4	△ 62	△ 0.9	△ 6.9	84.37	△ 6.4	99.4	79.0
7 期 (2011年 2 月 25 日)	6,554	4	△ 543	△ 7.6	△ 7.4	81.94	△ 2.9	99.4	72.3
8 期 (2011年 8 月 25 日)	6,207	5	△ 342	△ 5.2	△ 7.4	76.97	△ 6.1	98.3	62.6

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはベンチマークを設定しておりませんが、参考指数として、東京時間午前10時における米ドル/円為替レート(出所:ロイター社)を記載しております。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		参考指数		債券組入比率
		騰落率		騰落率	
(期 首) 2011年 2 月 25 日	円 6,554	% —	81.94	% —	% 99.4
2 月末	6,554	0.0	81.73	△0.3	99.4
3 月末	6,611	0.9	83.06	1.4	99.5
4 月末	6,565	0.2	82.08	0.2	99.6
5 月末	6,640	1.3	80.84	△1.3	99.7
6 月末	6,575	0.3	80.65	△1.6	99.3
7 月末	6,324	△3.5	77.84	△5.0	99.4
(期 末) 2011年 8 月 25 日	6,212	△5.2	76.97	△6.1	98.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはベンチマークを設定しておりませんが、参考指数として、東京時間午前10時における米ドル/円為替レート(出所:ロイター社)を記載しております。

■運用経過および今後の運用方針

(1) 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は前期末の6,554円で始まり、2011年4月7日及び8日に期中最高値となる6,863円を、8月23日及び24日に期中最安値となる6,193円を付け、当期末の基準価額は6,212円（課税前、分配金込み）となりました。前期末に比べ342円下落し、騰落率は▲5.22%となりました。また、参考指数である東京時間午前10時における米ドル／円為替レート（出所：ロイター社）の騰落率は▲6.07%となりました。収益分配につきましては、ファンドの収益分配方針を勘案し、当期末に5円の分配を行いました。

(2) 当期の市場概況

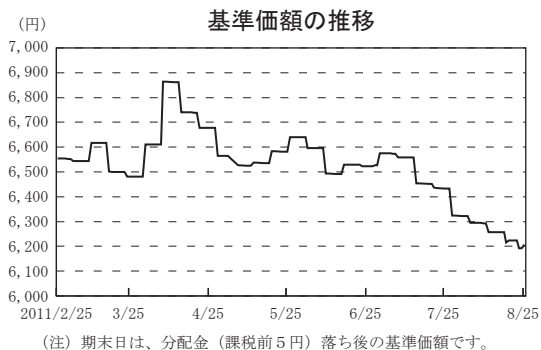
当期の為替市場において、米ドル／円為替レートは、円が上昇する動きとなりました。

期初、円は日米金利差の拡大などを背景に下落基調で推移しましたが、3月の東日本大震災による資金需要から日本企業のレパトリエーション（海外から資金を戻す動き）が意識されると円高基調となり、3月17日のシドニー市場で1ドル76円26銭と、円は対ドルで史上最高値を更新しました。主要7カ国の財務相・中央銀行総裁が円高阻止に向けた協調介入を合意、実施されると1ドル80円台後半から81円台前半の水準でもみ合いが続き、4月にECB（欧州中央銀行）が2008年7月以来となる利上げを実施して金融政策の正常化に踏み出したのに対し米国は利上げを実施しないスタンスを示すと、全般的にドルの売り圧力が増し、円が上昇する展開となりました。

その後、日本政府及び日本銀行が為替介入に踏み切ると円は80円台まで下落しましたが、期末にかけ世界的な景気鈍化への懸念や米国大手格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ社による米国債券の格下げなどが嫌気されると米国及び各国の株式市場は大幅下落となり、投資家のリスク資産回避の動きから米国債券への買い姿勢が優勢となったことで日米金利差が縮小すると8月19日のニューヨーク市場では1ドル75円95銭と、3月に付けた1ドル76円26銭の最高値を再び更新するまで円高が進み、円高基調のまま当期を終えました。

(3) 基準価額の変動要因

当期中、為替市場では円高ドル安基調となったことから、当ファンドの基準価額は下落しました。



(4) 運用経過

当ファンドは、SGA ソシエテ ジェネラル アクセプトランス N.V. (仏系銀行ソシエテ ジェネラルの100%子会社、親会社保証付き) が発行するユーロ円建て債券 (以下「ユーロ円債」) に投資します。当ファンドでは、主要な投資対象である「ユーロ円債」の組入比率を高位に保ちました。当該「ユーロ円債」の発行体格付け等につきましては、月報等をご参照ください。

当ファンドは、米ドル/円為替レートの水準により、償還条件が決定されます。当ファンドは期中評価日^(※1)である2010年2月10日に、判定水準となる90.39円 (当初為替 (ファンド設定日である2007年9月7日の東京時間午前10時における米ドル/円為替レート) である115.39円より25円高) 以上の円高となりました。これにより、以降満期までの期中評価日において早期償還条件水準^(※2)以上の円安にならない場合は、当初為替と計算日の米ドル/円為替レートの変動率に連動した償還価額となります。また、早期償還条件水準以上の円安になった場合は、その直後の決算日に元本の103%確保を目指して繰上償還されます。

なお、当期の期中評価日 (2011年8月12日) における評価レートは、当期の早期償還条件水準である110.39円より円高の76.95円となりました。

期中評価日 ^(※1)	評価レート	早期償還条件水準 ^(※2)
2008年8月12日	110.21円	116.39円
2009年2月10日	91.15円	115.39円
2009年8月12日	95.94円	114.39円
2010年2月10日	89.91円	113.39円
2010年8月12日	85.08円	112.39円
2011年2月14日	83.29円	111.39円
2011年8月12日	76.95円	110.39円
2012年2月13日		109.39円
2012年8月13日		108.39円
2013年2月8日		107.39円
2013年8月12日		106.39円
2014年2月10日		105.39円

※1 期中評価日とは、定期的に米ドル/円レートを確認し、当ファンドが設けている条件を充足しているか評価する日を言います。当ファンド設定時点の予定であり、法令等の変更により休業日が変更された場合はこの限りではありません。

※2 早期償還条件水準とは、満期を待たずに繰上償還が行われる場合の判断の基準となる米ドル/円レートを言います。最初の期中評価日は当初為替+1円が判断基準となり、それ以降6ヵ月ごとに1円ずつ円高の水準に設定されています。

(5) 今後の運用方針

当ファンドは、引き続き主要投資対象である「ユーロ円債」の組入比率を高位に保ち、早期繰上償還を目指した運用を行います。

■ 1万口当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 保 管 費 用 等	33円
合 計	33

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況（2011年2月26日から2011年8月25日まで）

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
オランダ	社 債 券	—	18,930

(注1) 金額は受渡し代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 社債券には転換社債は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等（2011年2月26日から2011年8月25日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産の明細

(A) 債券種類別開示

2011年8月25日現在

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	177,410 (177,410)	109,000 (109,000)	98.3 (98.3)	— (—)	— (—)	98.3 (98.3)	— (—)
合 計	177,410 (177,410)	109,000 (109,000)	98.3 (98.3)	— (—)	— (—)	98.3 (98.3)	— (—)

(注1) () 内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) —印は組入れなしです。

(注5) 評価については特定の金融商品取引業者よりデータを入手しています。

(B) 詳細開示

2011年8月25日現在

種 類	銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
普通社債券	EMTN TS (FX Linked 2007-9)	0	177,410	109,000	2014/8/19
	合 計	—	177,410	109,000	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成

2011年8月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	109,000	97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,502	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	111,502	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2011年8月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	111,502,692円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,949,023
公 社 債 (評価額)	109,000,704
未 収 入 金	552,960
未 収 利 息	5
(B) 負 債	671,687
未 払 収 益 分 配 金	89,275
そ の 他 未 払 費 用	582,412
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	110,831,005
元 本	178,550,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 67,718,995
(D) 受 益 権 総 口 数	178,550,000口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	6,207円

<注記事項>

1. 設定元本額 285,050,000円
期首元本額 206,115,609円
元本残存率 62.6%
2. 分配金の計算過程
計算期間末における当ファンドの配当等収益額 (749,255円) から経費 (650,000円) を控除した額 (99,255円) に、期末の受益権口数 (178,550,000口) を乗じて期中の平均受益権口数 (196,060,406口) で除することにより分配可能額は (90,390円) (10,000口当たり5円) であり、うち89,275円 (10,000口当たり5円) を分配金額としております。

■当期の分配金のお知らせ

決算期	第 8 期
1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 込 み)	5 円
所得税	0 円 35 銭
地方税	0 円 15 銭

◇個人の受益者に対する課税

10% (所得税7%、地方税3%) の税率による源泉徴収が行われます。なお、確定申告を行い、総合課税を選択することもできます。

◇法人の受益者に対する課税

7% (所得税7%) の税率による源泉徴収が行われます。

■損益の状況

当期 自 2011年2月26日 至 2011年8月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	749,255円
受 取 利 息	749,255
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,182,280
売 買 損	△10,182,280
(C) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	3,837,265
(D) そ の 他 費 用	△ 650,000
(E) 当 期 損 益 金 (A+B+C+D)	△ 6,245,760
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	△71,024,393
(G) 解 約 差 損 益 金	9,640,433
(H) 計 (E+F+G)	△67,629,720
(I) 収 益 分 配 金	△ 89,275
次 期 繰 越 損 益 金 (H+I)	△67,718,995

(注1) 損益の状況の中で(D)その他費用にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。